



杉並区

6 . 5 . 2 0
杉並区広報課

グリーンインフラを活用した流域治水の取組の推進について 専門家との連携協定を締結しました

近年の気候変動により、激甚化・頻発化する豪雨災害から、区民の生命や財産を守るためには、河川や下水道などの整備に加え、流域に暮らす区民と産・官・学などが一丸となって協働して進める流域治水の取組が重要となっています。

そこで、自然環境が有する多様な機能を活用するグリーンインフラ（以下「G I」という。）を取り込んだ流域治水の検討を開始します。G Iの活用には、区内の多くを占める民有地での取組が必須であることから、区民との対話の機会を創出し、共に考え取り組んでまいります。

この度、強力なパートナーとして、流域治水に関する専門技術の研究や推進に向けた学びの場の提供、住民との新たなコミュニティの形成などに取り組んでいる「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点^{*}と連携協定を締結しました。

* 善福寺川流域においてG Iに関する研究なども行っている熊本県立大学の島谷特別教授がプロジェクトリーダーを務めるグループで、流域治水の考え方に基づき、産学官が連携し、熊本県の球磨川流域の持続的な地域構築のための研究から社会実装まで取り組んでいるプロジェクトです。

○協定名

流域治水の取組に関する連携協定

○パートナーシップ

<協定締結日>令和6年5月20日

<締結相手>「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点
プロジェクトリーダー 島谷 幸宏
(熊本県立大学 特別教授)

<主な締結内容>

- ・ G I など流域治水の取組の検討等に必要な基本情報等の共有
- ・ G I などに関する住民への周知や対話の場等への講師派遣
- ・ G I の取組の検討や実施に必要な技術的助言などの協力

○これからの取組

<みんなで「知ろう」グリーンインフラ>

G Iに関する基本的な知識、身近な取組事例などについて、専門家から教えてもらう機会をつくります。

<グリーンインフラ推進会議>

G Iや流域治水について、共に考え、意見交換を行う機会をつくります。

【問い合わせ先】

都市整備部土木計画課：03-3312-2111 内線3422

総務部広報課：03-3312-2111 内線1502